

令和3年8月 幼保連携型認定こども園 大関保育園

大関保育園では一人ひとりの「やりたい!」「おもしろい!」「もっと!」という気持ちの芽生えや、自分たちで創りだす遊び、そこから得る学びを大切に保育しています。子どもたちが「やってみたい」と好きなことを見つけ、「おもしろい」と追求し「またやりたい」と満足いくまで楽しむ子どもたちの姿はとてもいきいきしています。 今年度も子どもたちが学び成長していく姿を保護者の皆様に発信していきます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の中から今回は「健康な心と体」の育ちが見られたエピソードを紹介します。「健康な心と体」とは体が清潔で心地よさを感じる、お腹が満たされて心地よさを感じる、体を動かす心地よさを感じることです。大きくなるにつれ、やりたいことに向かって体を動かす楽しさも感じていきます。感じるということが学びにもつながっていくのだと思います。

「つめたくてきもちいい〜」とこの表情!スコップですくってみたり、お水をにぎにぎ・・。色水の動きに興味を持ち触ると様々な水の動きに興味を持ってくり返し遊ぶ姿が見られました。(0歳児)





裸足で砂の上に立つと感触が気持ちよくて笑顔に!でも下りる時は 座って一歩ずつ慎重に…。

安全に下りるにはどうするといい のかを考えている姿が見られまし た。

なんと!それからしばらくしてバランスをとりながら立って下りられるようになりました。 (0歳児)





ホール遊びの日。鉄棒を出すと「ぶらーん」とぶら下がるRちゃん。その姿を見ていたIちゃんも鉄棒を握りぶら下がろうとしたのですが、足をうまく上げることができず、諦めてしまいました。ホールを使う日は、鉄棒を出しぶら下がれるようにしておく

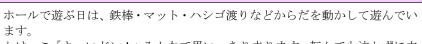
6月のある日、鉄棒にぶら下がるIちゃんの姿が見られました。いつの間にか、出来るようになっていたのです!「じょうずだね!」と声を掛けられると嬉しそうににっこり笑顔を見せてくれました。意欲的に、体を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わっていました。 (1歳児)



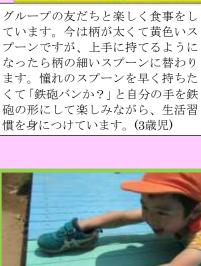
おやつや給食前には、手洗いをしています。

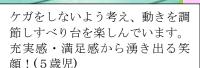
手を濡らすだけの子どもたちでしたが「おねがいかめさん」の歌を聞き、手のひら・手の甲・指の間をゴシゴシきれいに洗えるようになりました。

「ほらぁ。」ときれいになった 手を見せてくれます。子ども たちもきれいになった心地よ さを感じています。(2歳児)



かけっこ「よ~いドン!」みんなで思いっきり走ります。転んでも泣かずに立ち上がり、また挑戦する姿が見られます。動きも活発になり、体を動かす楽しさを目一杯楽しんでいます。(2歳児)



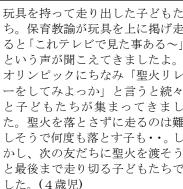


いつもはフラットな場所を走っている子どもたち。踏切板で坂を作ると「何だろう?」と興味津々。車で登るのには力がいります。でも子どもたちは「登ってみたい」という思いで動きを調整しながら坂を登っていました。やりたいことに向かって体を動かす楽しさを感じていました。(3歳児)



体育教室が始まり、教えてもらったことを真似て遊んでいます。ポーズが取れると「先生見て〜」と教えてくれます。またお友だちを見て「○○ちゃんすご〜い」「頑張れ〜!」と応援する姿も見られるようになってきました。ぐっと踏ん張ったり、バランスを取ったりと先生や友だちを真似て考えながら体操をしている子どもたちです。

(4歳児)

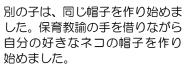




6月15日仁愛女子短期大学重村先生による造形遊びにペンギン組が参加しました。色々な素材を使い、イメージしながら作り上げていく中でたくさんの学びがありました。

三つ編みのやり方が分からず、友だちに教えてもらった り手伝ってもらう協同性が見られました。

また、手伝ってあげる子も制作していた手を止めて教えてあげる、道徳性の芽生えも感じられました。



保育教諭と言葉のやりとりをしながら、アイディア、ヒントを少し伝えると、工夫して作る姿が見られました。

自分の作りたいイメージを保育 教諭と共有して、考え工夫する姿 から、自立心や思考力の芽生えを 感じました。





講師の先生が作っていた手本を見て、 僕も作りたいと意欲的に取り組む姿 がありました。しかし、作り方がわか らず、諦めそうになりました。手本を 手元に置くことで、1本の細い紙では 頭のサイズに合わないと気が付き、2 本繋げてみるなど思考力の芽生えが 感じられました。

また、手本を見てそっくりに作る姿からは、個数を数えたり、長さを試したりしていて、数量や図形などへの関心、感覚が感じられました。

